

九州大学ライブラリーサイエンス専攻における大学院教育の現状

渡邊, 由紀子

九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻 : 専任講師 | 九州大学附属図書館 : 図書館専門員

<http://hdl.handle.net/2324/26656>

出版情報 : 大学の図書館. 30 (11), pp.191-193, 2011-11-25. 大学図書館問題研究会
バージョン :
権利関係 :



媒体の情報も対象とした、情報法制とその哲学ならびに流通制度に関する教育、⑤これからの情報の管理・提供のあり方や「ライブラリー」の新たな機能を探究させる教育。

教育課程は、修士論文指導を兼ねる「特別研究」(必修2科目6単位)、統合新領域学府の「学府共通科目」(必修1科目1単位)、専攻全体の基礎となる「基礎科目」(必修5科目10単位)、複数の教員と学生が関与する実践的な実習・演習からなる「Project Team Learning・インターンシップ科目」(3科目中2科目3単位以上の選択必修)、学生のニーズと専任教員の履修指導により選択される「専門科目」(32科目中9科目18単位以上)の5つの科目区分から構成されている。この他、自由選択科目として専攻外または他学府の科目の履修が認められている。

本専攻の学生は、指導教員の履修指導のもと、修了後の進路の展望に合致した独自の履修カリキュラムを作成する。修了要件は、2年以上の在学による40単位以上の修得と、修士論文の審査及び最終試験に合格することである。修了者には「修士(ライブラリーサイエンス)」の学位が授与される。

3. 受け入れ学生の状況

本専攻への入学者としては、留学生を含む学内外の学士・修士・博士、さらには図書館の現職者等の社会人といった多様な志望者を想定している。アドミッションポリシーでは、特に社会人に関して、「職場での経験、問題意識を大学において理論的に深化、体系化させたいという意欲を有している」人材を対象として入学者選抜を行うことを定めている。

専攻設置準備に際し2010年3月に福岡県・佐賀県地区大学図書館、福岡県地区公共図書館、九州地区専門図書館に所属する職員を対象に実施したアンケートでは、81名の回答者中、図書館職員として身につけたい知識・技術を修得する場がないとの回答が77%に

上った。この結果からも、九州地区の現職者には必要とされる知識・技術の修得の場がなく、必要とされる人材が育成されていないという状況が把握できた。また、本専攻に「入学したい」13%、「興味がある」63%と、修学条件さえ合えば、社会人学生としての入学希望者が十分に見込めるものと予想された。

初年度の2011年度には、入学定員10名に対し第1期生9名が入学した。そのうち、社会人は九州大学附属図書館の職員2名であった。九州大学では、図書館職員の専攻入学に対応するため、勤務を続けながら大学院で平日昼間の修学が可能となるよう、就業規則の改正(1月単位の変形労働時間制の適用)が行われた。

4. 社会人学生への配慮

本専攻には、所謂「社会人コース」は設けていないものの、一定の社会人学生の入学が想定されるため、下記のような支援を行う。

①教育・指導時間の工夫：一部の授業については、6時限目(18:30-20:00)に開講する、あるいは夏季・冬季休業期間などに集中講義として開講するなど、相談の上、勤務時間等に応じた履修にできる限り対応する。

②インターネットを活用した対面授業の補完：一部の授業については、対面授業の補完として、講義内容を収録したビデオ映像や講義スライドの提供、教員と学生間の質疑応答、レポート課題の通知や回収、研究指導に、九州大学Web学習システムや電子メールを利用し、遠隔地や在宅での学習・研究活動を支援する。

③長期履修制度の導入：フルタイムで勤務する社会人学生に対して長期履修制度を活用し、3年間の履修により課程の修了を可能とする。

2011年度については、九州大学の図書館職員以外に社会人学生がいなかったため、結果として、上記のうち③長期履修制度以外の

配慮を行う必要はなかった。

5. 今後の展望

九州大学では、本専攻と附属図書館が密接に連携しながら、大学図書館職員の育成・確保に向けた新たな取り組みを始めている⁽²⁾。現職者の大学院修学については、前述の就業規則の改正に加え、九州大学以外の図書館職員が休職せずに本専攻に入学できるよう、大学間の人事交流を利用した受け入れ制度を準備中である。他方、そのような制度が適用されない学外の社会人には敷居が高いといった声も聞こえてくるため、専攻として、より広く現職者の育成・スキルアップに貢献できるような方策を検討していきたい。

今後、2013年度には博士後期課程を設置する計画もある。近い将来、九州大学のライブラリーサイエンス専攻で学んだ現職の図書館職員が、大学図書館界で大いに活躍してくれることを期待したい。

- (1) 渡邊由紀子, 富浦洋一, 吉田素文, 岡崎敦. 九州大学大学院「ライブラリーサイエンス専攻」の構想と意義. 情報管理. 2011, vol. 54, no. 2, p. 53-62.
- (2) 有川節夫, 渡邊由紀子. 大学図書館職員の育成・確保に向けた新たな取り組み. 図書館雑誌. 2011, vol. 105, no. 11 (掲載予定)
- (3) 九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻. 公式サイト <http://www.ifs.kyushu-u.ac.jp/lss>; 専攻独自サイト <http://lss.ifs.kyushu-u.ac.jp/>

(わたなべ・ゆきこ／九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻 専任講師, 九州大学附属図書館 図書館専門員)